

果樹剪定枝でゼロカーボンの取組みを！

実施日 4月11日（木）

場所 木祖村

内容

長野県ではゼロカーボン戦略として、2050年度までに温暖化ガスの一つである二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目標にしています。

剪定枝をそのまま焼却してしまうと、二酸化炭素として空気中に排出されてしまいますが、炭にして土壌改良資材も兼ねて施用する事で、二酸化炭素の発生を抑えながら土壌中に貯留させることもその一つの取組みです。

無煙炭化器（榊モキ製作所製）を使用して焼却すると、煙が少ない上に容器の内部は酸素が無い状態になり、剪定枝は灰にならないで炭になります。

今回は昨年実証していただいた木祖村のブルーベリー農家の方から、今年も取り組んでみたいとの連絡をいただき実施しました。

今年は雪の影響で枝の乾きが少し足りなかったのですが、枝を積み上げて燃焼する方法よりも無煙炭化器は燃焼中の煙の発生が少なく、炭を作ることができました。



無煙炭化器での燃焼状況



左：通常の燃焼 右：無煙炭化器（煙が少ない）